

本会の基本理念

つくりつなぐ小さな循環を

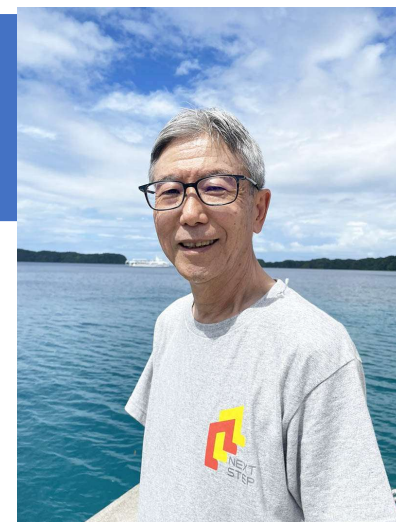
一般社団法人ネクストステップ研究会

代表 寺田卓二



プロフィール

一般社団法人ネクストステップ研究会代表 寺田卓二



- 1952年 三重県四日市市山田町生まれ
四日市のイメージとは違う茶畑と里山・水田の広がる田舎
高校までは四日市市で、大学・大学院MC時代は東京で過ごす
- 1978年 三重県の高等学校教員（生物）に
初任校は、三重県の南端 木本高校（熊野市）
- 1982年 四日市市に戻り、普通高校で生物を教える テニス部顧問12年
- 1999年 オーストラリア ヴィクトリア州で環境教育の調査研究
- 2000年 三重県環境部へ転出
ISO14001の県内普及、市民活動団体支援を担当
- 2013年 四日市中央工業高等学校校長を最後に三重県を退職
- 2015年 11月 環境教育ネクストステップ研究会設立
- 2019年 5月 一般社団法人ネクストステップ研究会に発展



考え方の基本 つくりつなぐ小さな循環

- 環境側面から、ローカルSDGsを進める。そのための人づくり（ESD）に取り組む
- そのために、地域に、人、モノ、資金の循環を作る
- 循環はできるだけ小さく作る
- 必要なら（完結しないなら）小さな循環をつなぐ
- 自分たちだけでは完結できないので、パートナーシップを大切にする



今年度の活動をお伝えします

NEXT NEWS

2025
|
2026



NEW signboard

一般社団法人

ネクストステップ研究会

- | | |
|----------------|----------|
| ・持続可能な開発のための教育 | E S Dチーム |
| ・資源循環でヒトの輪を繋ぐ | ごみ削減チーム |
| ・里山を今に生かす | 里山チーム |
| ・豊かな海ってどんな海 | アサリチーム |

『広報チームの活動報告』

2025年8月より、SNSでの発信体制を見直し、これまで以上に私たちの活動をタイムリーにお届けできるようになりました。

インスタ・Facebook・ホームページ（ブログ）・LINE公式では、活動の様子やイベントのお知らせ、開発商品のご紹介、賛助会員である企業・団体さまの取り組みを随時発信しております。ぜひ、お気軽にのぞいてみてください。



<インスタ>



<Facebook>



<HP>



<LINE公式>

私たちにお声がけください

私たちは、環境学習講座や現地での環境活動を10年間にわたってやってきました。その経験を活かし、下記のような講座やイベントを有料にて承っております。ぜひ、ご利用ください。

- ◎生ごみが消えちゃう！キエーロの使い方
- ◎ケアシエルネットを使ってアサリを育てよう
- ◎放置竹林活用講座 竹炭づくり、メンマづくりなど
- ◎笹竹で作るフィンランドの窓飾り「ヒンメリ」講座
- ◎お絵かき動画と一緒に考えるごみ学習（小学生向け）



※詳しくは、右のQRコードから本会HP提供リストをご覧ください。



ご支援お待ちしております



小さな循環づくりを進めるには、資金が必要になります。会費とわずかな事業収入ではできる活動が限られています。ご寄付による財政的な支援をお待ちしています。ご寄付には、一回だけの支援と賛助会員として継続的な支援の二つの方法があります。賛助会員としての支援については、上記HPのQRコードを開き「入会・支援について」のページからお申し出下さい。

口座情報：三十三銀行 四郷支店
普通 1134928
シャ) ネクストステップケンキュウカイ



090-3935-5374



daihyo@ee-nextstep.com



〒510-8037
三重県四日市市垂坂町1084番地



<https://ee-nextstep.com>





アサリチーム

四日市浅場創生会を設立

四日市市漁業協同組合と協働し、アサリの育成を行ってきました。
令和7年度からは、水産庁の漁場生産力・水産多面的機能強化対策事業の活動団体「四日市浅場創生会」を設立し、海底耕うんやアサリ等の稚貝の沈着促進を行っています。



学習会「四日市の海の生きものたち」

小学生親子を対象として、私たちの活動を知ってもらう機会として学習会を開催しました。漁師さんの獲ったワタリガニやヤドカリなど四日市の海の生き物とふれあい、里海について学びました。



里山チーム

整備した里山の活用

明るい雑木林として整備している南部丘陵公園南ゾーンでは、自然観察会や幼児から小学生の里山遊びの場として活用しています。また、四日市メリノール学院とその周辺では、放置竹林の整備を進めています。そこでは、活動を通して、放置竹林の



竹やタケノコの有効活用

タケノコとしては育ちすぎた幼竹を使い、調味料も四日市産にこだわった竹菜「酒の筍」を地元の食品メーカーと協働で開発しました。また、竹チップや竹炭づくりを通して、竹林の持続的活用の可能性を示す活動を行っています。



ごみ削減チーム

生ごみ減量 相談窓口継続中

四日市市の委託事業として、無料相談窓口を継続実施中。
始めよう！つづけよう！生ごみ処理機の活用を推進しています。
今年度は初の親子講座を開催！
生ごみ減量に取り組む市民の輪をさらに拡大していきます。



はじめての学会参加

9月に名古屋大学で開催された廃棄物資源循環学会の市民展示部門に参加しました。テーマは『市民が創る循環型社会』東海地方を中心に3Rを進める団体が集合！いろいろな方々と出会うことができ貴重な経験になりました。



『つくりつなぐ小さな循環』

～小さな循環を回す力～

私たちは、「つくりつなぐ小さな循環」をモットーに活動を進めています。
活動していて痛感することがあります。
循環をつくり回すには、『自分たちだけではできない』ということです。
循環がうまく回り始めるとき、それは共感してくれるパートナーができたときです。パートナーは事業者であったり、行政であったりします。
SDGsの17の目標の最後は、「パートナーシップで目標を達成しよう」です。
ともに歩んでくださるパートナーの皆さまに感謝を込めて、今年度の活動を報告します。

ESDチーム

パラオでの活動完了

3年間取り組んできたパラオ共和国バベルダオブ島の2つの地域と8つの小学校でのごみ分別排出システム作りの支援活動が完了しました。小学校では先生方のごみ分別や環境教育の意識が高まり、継続したいとの声が多数出るようになりましたので、それを今後も続けられるよう教育省にいくつかの提言をしました。小さな島国でごみ削減をしていくにはいくつもの困難がありますが、パラオの皆さまが今回の取り組みをきっかけに、ごみ削減を自分事としてとらえ、継続的に取り組まれることを期待しています。



先生、地域代表の方とのミーティング



ごみ分別に取り組むマルキョク小学校の生徒

この活動は、UCA草の担当事業としてICSTT

こんな方 一緒に考えましょう

- 竹林や里山の整備を進めたいが、どんな考えで、何から手をつけていいかわからない。
- 企業の本来業務と関連して（または、社会貢献活動として）、地元の持続可能な環境づくりに取り組みたいが、どうしていったらいいか。
- 家庭にいてできることはないか。生ごみを減らし、有効活用することから始めてみませんか。
- 小・中・高校では、探究活動がますます重視されてきています。地域と連携して主体的な学びを展開したい。

少し早く取り掛かった経験を持つ団体として、ご相談に乗ります。
ご連絡ください。

E-mail : daihyo@ee-nextstep.com

